



# 当期の事業活動 について

## 第120期 決算を終えて

2021年3月1日から2022年2月28日まで

### 特集 ESGの推進 / SDGsへの取り組み

#### トピックス

これまで培ってきた貼付剤技術をもとに  
これまでにない新しい価値を生み出していく

新規ナトリウムチャンネル遮断薬に  
関するライセンス契約を締結

注意欠如多動性障害(ADHD)治療薬である  
XELSTRYM™のFDA承認取得のお知らせ

## これまでにない新しい価値を生み出していく

## 新規ナトリウムチャンネル遮断薬に関するライセンス契約を締結

2021年12月に当社は、ラクオリア創薬株式会社が創製した新規ナトリウムチャンネル遮断薬に関するライセンス契約を締結しました。

ラクオリア創薬が創製した新規ナトリウムチャンネル遮断薬 RQ-00350215 (以下「本化合物」) は、痛み信号の伝達に関わる特定のナトリウムチャンネルの機能を選択的に遮断することにより、既存の薬剤では十分な鎮痛効果が得られない慢性疼痛に対する画期的な新薬となることが期待されます。

今回のライセンス契約に基づき、当社は本化合物の全世界を対象とした独占的な開発・製造・販売権を取得しました。また今後、本化合物を含有する新たな疼痛治療薬の開発を前臨床試験段階から実施し、強みとする経皮吸収型薬剤の開発を進め、前臨床試験を経て臨床開発を行っていく計画です。

慢性疼痛の新たな治療選択肢を提供することで、患者さんのQOL向上に貢献する

## 注意欠如多動性障害(ADHD)治療薬である XELSTRYM™のFDA承認取得のお知らせ

2022年3月に当社の完全子会社であるノーベン社は、経皮吸収型デキストロアンフェタミン製剤「XELSTRYM™ (以下「本剤」)」についてFDAの承認を取得しました。

本剤は、成人及び6歳以上の小児における注意欠如多動性障害 (以下「ADHD」) の治療薬として、世界で初めて承認された唯一の経皮吸収型アンフェタミン製剤です。

ノーベンのChief Operating Officer及びChief Medical OfficerであるJoel Lippmanは、「FDAによる本剤の承認は、ADHDを抱える人々に、それぞれのライフスタイルに合った投薬スケジュールを管理する新たな選択肢を提供するとともに、ADHDの治療において臨床医、介護者、患者さんに新しい選択肢を提供します。今回の承認により、早ければ今年後半には、米国での販売開始に向けて最終的な準備を進めることができます。」と述べています。

注意欠如多動性障害 (ADHD) 治療における新たな選択肢を提供していく

## CONTENTS

トピックス	1	事業の概況	7
メッセージ		配当金について	9
第120期決算のご報告	2	連結決算ハイライト	10
特集		連結財務諸表 (要約)	11
ESGの推進/SDGsへの取り組み	3	会社の概況/株式情報	13
Hisamitsu SNAP SHOT	5	インフォメーション	14

## ■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

## 第120期決算のご報告



代表取締役社長 中富 一榮

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により困難に直面されている皆様にお見舞いを申し上げるとともに、国民の健康を守るために最前線でご尽力いただいている医療従事者の方々に心より感謝申し上げます。

当社は、2021年8月に佐賀県から医薬品医療機器等法違反に基づく行政処分を受けました。当社では今回の行政処分を重く受け止め、お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに心からお詫び申し上げますとともに、経営陣及び従業員一人ひとりが再発防止に誠心誠意努め、社会からの信頼回復に向けて全力で取り組んでまいります。

ここに第120期 (2021年3月1日～2022年2月28日) の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場の医療用医薬品は、今年度に初めて実施された薬価の中間年改定や、継続的な後発品使用促進策による影響を受けたものの、「ハルロピ®テープ」の売上が伸長したことや、デジタルマーケティングを効果的に活用したことにより、増収となりました。一般用医薬品は、厳しい販売競争が続く中、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用した効果的な販促活動を行い「アレグラ®FX」の売上が伸長したこと等により、増収となりました。

海外市場の医療用医薬品は、米国で後発品の影響を受けたものの、その他の地域では売上を伸ばし、増収となりました。一般用医薬品事業は、米国及びアジアを中心とした地域で「サロンパス®」中心に売上を伸ばし、増収となりました。

なお、米国においてサロンパス®ブランドが一般用医薬品鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位を獲得しました。また、ユーロモニター社より一般用医薬品市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、「Salonpas®」が5年連続で販売シェア世界NO.1ブランドの、「久光製薬」が4年連続で販売シェア世界NO.1企業の認定をそれぞれ受け、海外における評価を一段と高めています。

以上により、連結業績は、売上高1,201億9千3百万円 (前期比5.0%増)、営業利益93億3千7百万円 (同12.5%減)、経常利益126億3千8百万円 (同6.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益96億5千8百万円 (同4.4%増) となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



# ESGの推進／SDGsへの取り組み

より詳細な内容はこちらで  
ご覧いただけます。



HP「サステナビリティ」  
ページ

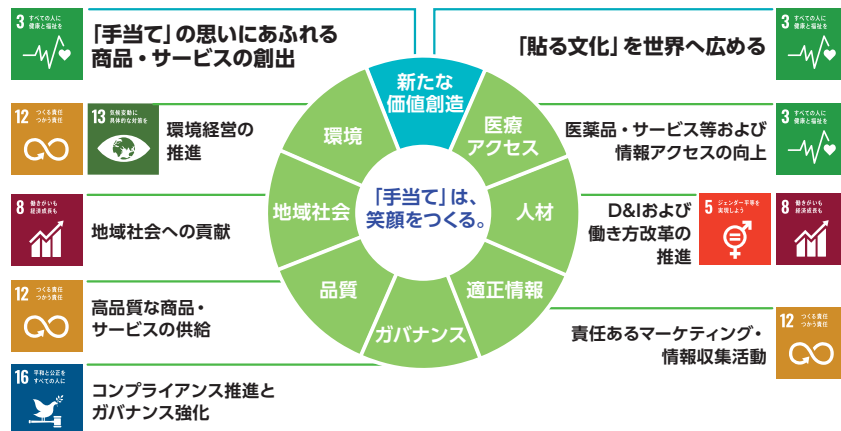


統合報告書  
2021



2021年に当社は、サステナビリティ方針に掲げる『「手当て」は、笑顔をつくる。』という共有価値を創造するために、9つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。また社会課題の解決、当社の持続的成長のために特に重要なマテリアリティについては、中長期的に進捗を計測するための評価指標(KPI)を設定しました。今後、KPIの実績値の開示を行うとともに、社内外の環境変化に応じて、定期的にマテリアリティおよびKPIの見直しを検討してまいります。

## 当社が目指す共有価値



## 持続的成長のために特に重要なマテリアリティとKPI

マテリアリティ（重要課題）	KPI	
<b>「手当て」の思いにあふれる商品・サービスの創出、「貼る文化」を世界へ広める</b> 	手当ての思いにあふれる商品・サービスを創出する（貼付剤および手当ての思いにあふれる商品・サービス）	
	当社商品の販売国・地域数を広げる	
<b>環境経営の推進</b> 	環境、使いやすさに配慮した育薬を行う（育薬：商品改良、効能追加など）	
	CO <sub>2</sub> 排出量削減（スコープ 1、2）	2030 年までに 2013 年度比で 46% 削減する。 対象：国内の全拠点
<b>高品質な商品・サービスの提供</b> 	廃棄物の削減	1) 工場から排出される産業廃棄物の削減 2025 年度までに廃棄率を 2020 年度比で 1.5% 削減する。 ※廃棄率 = 産業廃棄物量 / 総生産量 2) 容器包装リサイクル法に係る「家庭ごみ」の削減 2030 年度までに 2020 年度比 10% の削減 ※販売数量増減の影響は含まない。
	製品回収ゼロ	毎年の製品回収をゼロとする。
<b>D&amp;I および働き方改革の推進</b> 	商品クレーム発生率	2025 年度までに商品クレーム発生率を 0.001% 以下とする。 対象：当社が製造・販売する全ての商品に対する商品に関するクレーム
	モラルサーベスコア（該当 8 項目：やりがい + 働きやすさ）	2025 年度までに 8 項目平均値を 5.0P 以上とする。
	女性管理職比率	2024 年 3 月 31 日までに 2021 年 3 月末時点の 1.5 倍に引き上げる。
	入社 9 ～ 11 年目女性社員継続雇用割合	2024 年 3 月 31 日までに継続雇用割合を 45% 以上とする。

## 最近の主な活動報告

### CO<sub>2</sub>排出量削減

九州本社へ  
新たに太陽光発電設備を設置



関連するSDGsの目標



### 国内営業活動におけるエコ活動

『エコドライブ10』※の推進

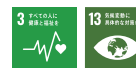
※経済産業省、国土交通省、環境省、警察庁で構成するエコドライブ普及連絡会が策定



車両用ステッカー

手帳用シール

関連するSDGsの目標



### 外部からの評価

清原工業団地スマエネ事業が  
2021年度 省エネ大賞  
経済産業大臣賞  
(共同実施分野)を受賞



2021年度 省エネ大賞  
経済産業大臣賞  
(省エネ事例部門 共同実施分野)  
受賞記念トロフィー

本事業は「とちぎエネルギー戦略」に基づき、久光製薬・カルビー・キヤノンの3社7事業所が、エネマネ事業者\*である東京ガスエンジニアリングソリューションズ（以下「TGES」）と連携し、TGESが新設した清原スマートエネルギーセンターの高効率大型ガスコージェネレーションシステム・太陽光発電・ボイラによって効率的に作られた電力と熱を、ネットワーク化された電力自営線と熱導管を通じて利用することで、事業所単独では難しい大幅な省エネ・省CO<sub>2</sub>（それぞれ20%削減）を実現した事例です。今回の受賞は、業種の異なる複数事業者が連携して地域全体での最適化を追求し、省エネ・省CO<sub>2</sub>を達成したことに加え、地産地消型エネルギーインフラの構築に伴う地方創生にも貢献する事例として、高く評価を受けたものです。

\*一般社団法人環境共創イニシアチブが指定する計測・見える化等の機能を備えたエネルギーマネジメントシステムを用いて、エネルギー管理支援サービスを提供し、エネルギーを利用する事業者と共同でより効果的な省エネルギー対策を実施する事業者

### 清原スマートエネルギーセンター概要

項目	内容
敷地面積	約 20,000㎡
需要家敷地面積合計	約 608,000㎡
エネルギー供給設備	・ガスコージェネレーションシステム 5,770kW×6基 ・蒸気ボイラ 7t/h×7基 ・太陽光発電システム（太陽光パネル出力合計）70kW

関連するSDGsの目標





医薬品取り扱いを開始!

## 久光製薬の通信販売 「Hisamitsuいきいき Online」

健康食品を中心に通信販売を行っていた「Hisamitsuいきいき Online」では、2021年10月より、一部のOTC医薬品の取り扱いを新たに開始しました。

近年、生活習慣の改善や健康寿命への意識が高まり、より一層の健康社会が望まれています。「Hisamitsuいきいき Online」は、当社が長年、医薬品メーカーとして培ってきたノウハウを活かし、このような健康に対する意識の高まりに応え、お客様にこれまで以上に「いきいき」とした生活を過ごして頂くために様々な商品をお届けしてまいります。



### Hisamitsuいきいき Online

**URL** <https://www.e-hisamitsu.jp/shop/default.aspx>  
**TEL** 医薬品 047-406-3686  
 受付時間 9:00-12:00、13:00-18:00  
 (土・日・祝日および夏季休業日と年末年始休業日を除く)  
 健康食品 0120-1332-17  
 受付時間 9:00-21:00 (年中無休)

伸び縮みするから肌にピッタリフィット

## 「ら・サロパス」 リニューアル発売

2022年1月のリニューアルではESG推進の一環として、プラスチック剤のサイズは従来品と同様のままに、10枚入はパッケージ(外箱)を省き、30枚入はパッケージサイズを縮小することで紙の使用量を削減し、地球にやさしい「エコ&コンパクト」パッケージへ変更しました。また、薬袋についても、「タテ向き開き」から「ヨコ向き開き」に開封口を広げ、取り出しやすくし、さらに保存に便利なチャック付きの薬袋に改良しました。

### リニューアルのポイント

- 紙の使用量を削減し「エコ&コンパクト」パッケージにリニューアル【紙削減量 8t/年間】  
従来品16枚入      リニューアル品10枚入      従来品32枚入      リニューアル品30枚入



「10枚入」薬袋販売に変更  
紙の使用量を削減しエコ&コンパクトに

当社従来品と比べて  
個包装1箱あたり約16%の紙面積を削減

- 薬袋がさらに使いやすくリニューアル  
薬袋を「タテ向き開き」から「ヨコ向き開き」にすることで、取り出しやすくなりました。保存に便利な「チャック付き」になりました。



久光製薬が定めるエコ基準をクリアした商品には、「HELLO! eco!」マークを環境省が定める環境表示ガイドラインによる環境説明文を併記した上で順次表示いたします。



久光スプリングス



## 2021/2022シーズン 2冠達成!



久光スプリングスは、2022年4月16日、2021-22 V.LEAGUE DIVISION 1 WOMENにおいて、レギュラーシーズン3位からファイナルステージを勝ち進み、3季ぶり8度目の優勝を果たしました。

個人賞は、酒井新悟監督が優勝監督賞と松平康隆賞の栄誉を受け、井上愛里沙選手が最高殊勲選手賞・ベスト6及び日本記録賞得点王(最多得点)に輝いた他、フォルケ・アキンラデウォ選手がスパイク賞・ベスト6及び特別表彰を、栄絵里香選手がベスト6と特別表彰を、戸江真奈選手がレシーブ賞を、それぞれ受賞しました。

2021年12月19日に2大会ぶり9度目の優勝を果たした天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会(平成18年天皇杯・皇后杯第55回黒鷲旗全日本バレーボール選手権大会を含む)と併せて2021/2022シーズンは2冠を達成する事が出来ました。



当期の概況

医療用医薬品事業

今年度に初めて実施された薬価の中間年改定や継続的な医療費抑制策の推進による影響もあり、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型貼付剤を中心として、デジタルマーケティングを効果的に活用しながら、医療関係者への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、ケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」及び「モーラス®パップXR」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ®テープ」、鎮痛効果の高いフェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」、オキシブチニン塩酸塩含有の経皮吸収型過活動膀胱治療剤「ネオキシ®テープ」、エメダスチンマル酸塩含有の経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤「アレサガ®テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

2021年5月には、非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）を含有する経皮吸収型製剤として、本邦初のがん疼痛治療剤となる経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「ジクトル®テープ」の販売を開始しました。さらに、2021年8月に腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎への効果追加に関する承認事項一部変更承認申請を行いました。

一般用医薬品事業

経皮鎮痛消炎剤などの販売に加えて、新商品を投入し、店頭・デジタルマーケティングの双方を活用して新規顧客創造活動に努めました。

2021年8月には、当社従来品に比べサイズを縮小し、シップ剤をティッシュの様に1枚ずつ取り出すことができる利便性の高い新パッケージを採用した「のびのび®サ

ロンシップ®フィット®10枚入）、同年9月には、機能性表示食品の「Hisamitsu®歩かんと®」、同年10月には、当社の貼り薬で使用している伸縮性不織布を採用した「貼り薬の不織布で作ったマスク」を新発売しました。

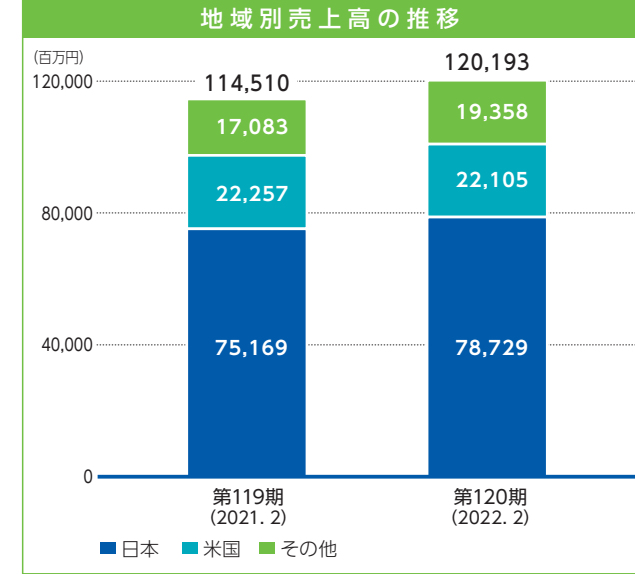
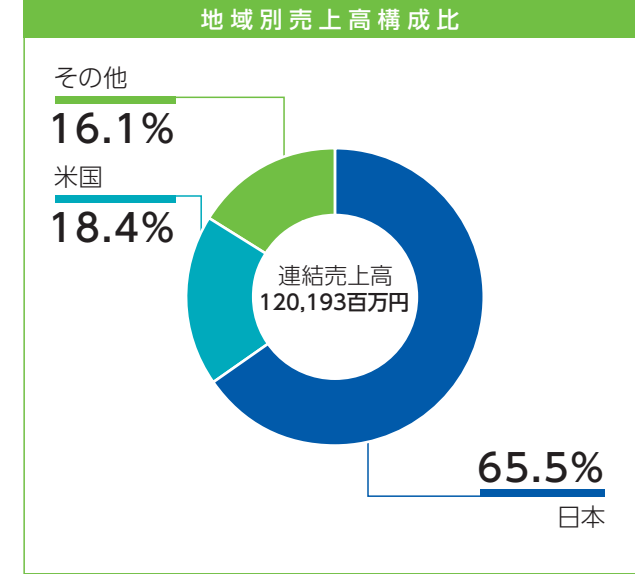
同年10月には、健康食品を中心に通信販売を行っていた「Hisamitsu®いきいきOnline®」にて、医薬品の取扱いを開始しました。

また、2022年1月には鎮痛消炎プラスタ剤「ら・サロンパス®」をリニューアル発売しました。今回のリニューアルではESG推進の一環として、従来のパッケージサイズを縮小し、紙の使用量を低減するとともに、薬袋の開封口を広げて使いやすくしております。

海外事業

一般用医薬品事業につきましては、販売促進活動に努め、米国のOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤市場においてサロンパス®ブランドが販売額シェア1位（2021年1月から12月累計販売金額）を獲得しています（Information Resources, Inc.）。

また、ユーロモニター社より、「Salonpas®」がOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、5年連続で販売シェア世界No.1ブランドの認定を受け、また、同カテゴリーにおいて「久光製薬」が4年連続で販売シェア世界No.1企業の認定を受け、2021年5月18日に認定証を授与されました。



次期の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を予測することは依然として困難な状況にあります。国内需要の減少は段階的に回復するものと想定していますが、訪日外国人の大幅な減少、医療費抑制策の影響、企業間競争の激化など引き続き厳しい事業環境が続くと想定しており、当社グループでは次のように取り組んでいきます。

国内の医療用医薬品事業につきましては、医療関係者への学術情報活動を一段と強化するとともに、医療関係者や患者さんのニーズに合致した新しい製剤の開発を目指します。また、営業、生産及び研究開発の機能を強化するとともに、収益の一層の向上を目指し、更なる成長に努めます。

国内の一般用医薬品事業につきましては、既存商品の売上伸長を図るとともに、お客様のニーズにお応えできるよう商品の改良及び新商品の開発を行います。

海外の事業展開につきましては、知的財産、製造技術及び品質管理技術を含めた当社ブランドの確立を図るとともに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の強化を図ります。

特に、米国の医療用医薬品事業においては、ノーベン社を拠点とし、双方の得意な技術を融合させることで、研究開発の機能を高めるとともに製造を強化してまいります。

これらの取り組みにより、2023年2月期の通期連結業績予想は売上高1,230億円（当期比2.3%増）、営業利益111億円（当期比18.9%増）、経常利益127億円（当期比0.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益97億円（当期比0.4%増）としています。

創業175周年を迎え、当社は昨年定めたマテリアリティへの取り組みを通じてESG及びSDGsを推進し、企業としての社会的責任を果たすとともに、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。



利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を最重要課題と認識し、安定的な配当の継続を基本と考えています。

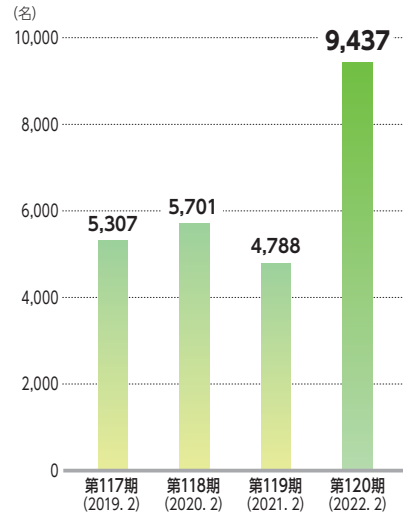
このほか、株主の皆様への有効な利益還元策として、自己株式取得などの財務諸施策を機動的に遂行します。

内部留保資金については、研究開発の推進、生産設備の拡充および海外事業の展開などに重点的に投資し、経営基盤の強化を図ります。

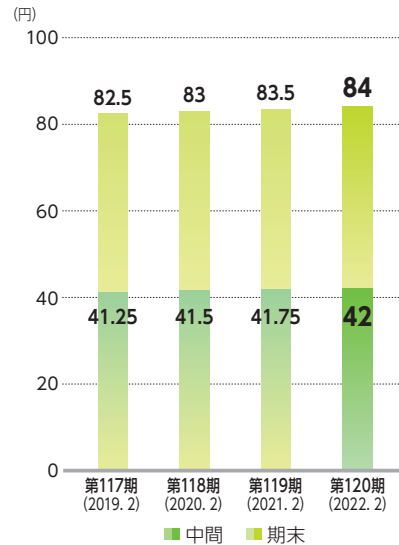
当期の配当は、期末配当金を1株につき42円とし、中間配当金42円とあわせて年間84円といたしました。

また、次期の配当につきましては、中間配当金42.25円、期末配当金42.25円とし、年間で1株につき84.5円（うち、175周年記念配当0.5円含む）を予定しています。

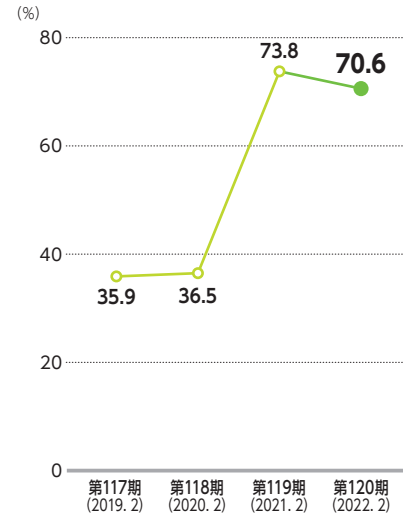
株主数の推移



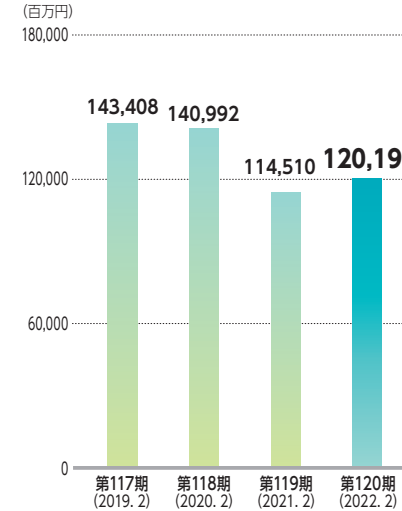
1株当たり配当金の推移



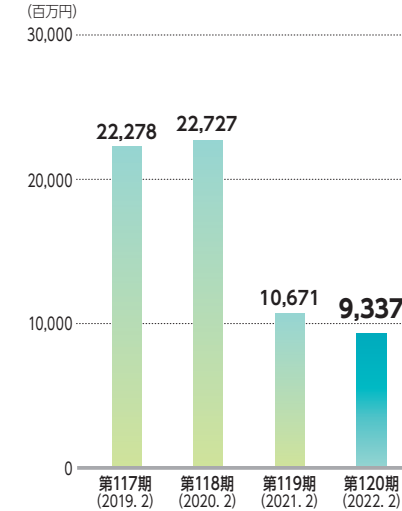
配当性向



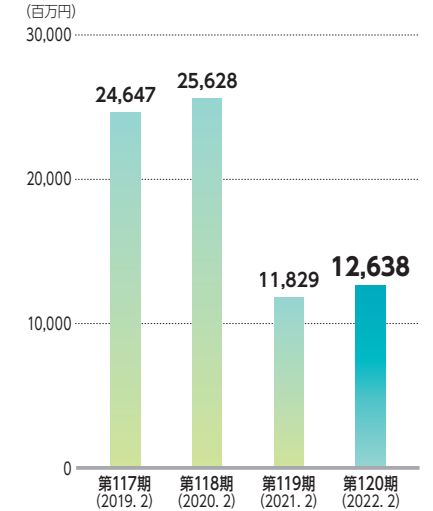
売上高



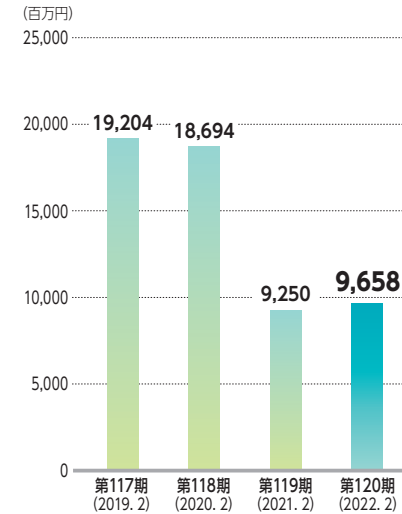
営業利益



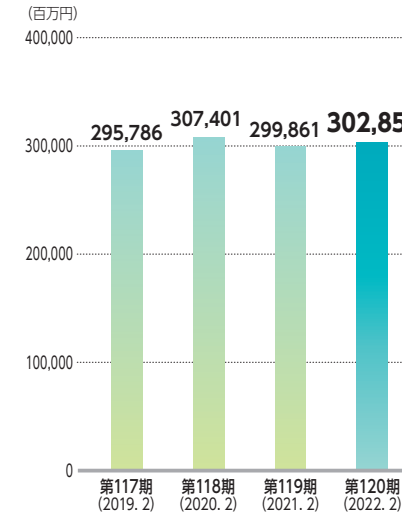
経常利益



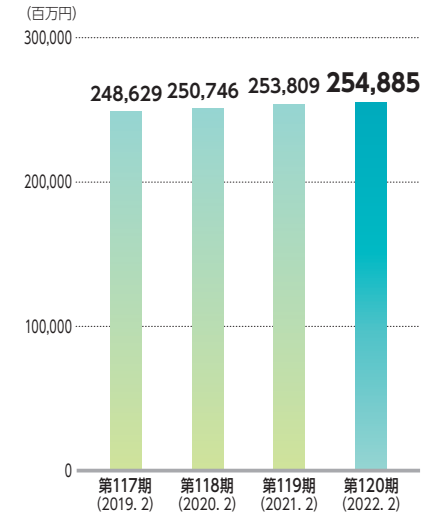
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



連結財務諸表(要約)

Point 1 資産

総資産は3,028億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比べて29億9千7百万円増加しました。主な増減は、現金及び預金(150億3千5百万円増)、有価証券(86億1百万円減)、商品及び製品(24億4千万円減)及び投資有価証券(20億8千3百万円減)です。

Point 2 負債

負債合計は479億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比べて19億2千万円増加しました。主な増減は、未払法人税等(23億2千9百万円増)及び電子記録債務(14億3千4百万円減)です。

Point 3 純資産

純資産合計は2,548億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比べて10億7千6百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金(28億1千5百万円増)、自己株式(80億3千1百万円減)及び為替換算調整勘定(68億7百万円増)です。

Point 4 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高は1,201億9千3百万円(前期比5.0%増)、営業利益は93億3千7百万円(同12.5%減)、経常利益は126億3千8百万円(同6.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は96億5千8百万円(同4.4%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2022.2.28 現在)	前期 (2021.2.28 現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	200,176	198,061
固定資産	102,681	101,800
有形固定資産	39,069	37,354
無形固定資産	1,326	1,178
投資その他の資産	62,286	63,267
<b>資産合計</b>	<b>302,858</b>	<b>299,861</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	32,160	30,057
固定負債	15,812	15,994
<b>負債合計</b>	<b>47,972</b>	<b>46,051</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	227,495	232,707
その他の包括利益累計額	25,419	19,359
新株予約権	254	232
非支配株主持分	1,717	1,510
<b>純資産合計</b>	<b>254,885</b>	<b>253,809</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>302,858</b>	<b>299,861</b>

連結損益計算書

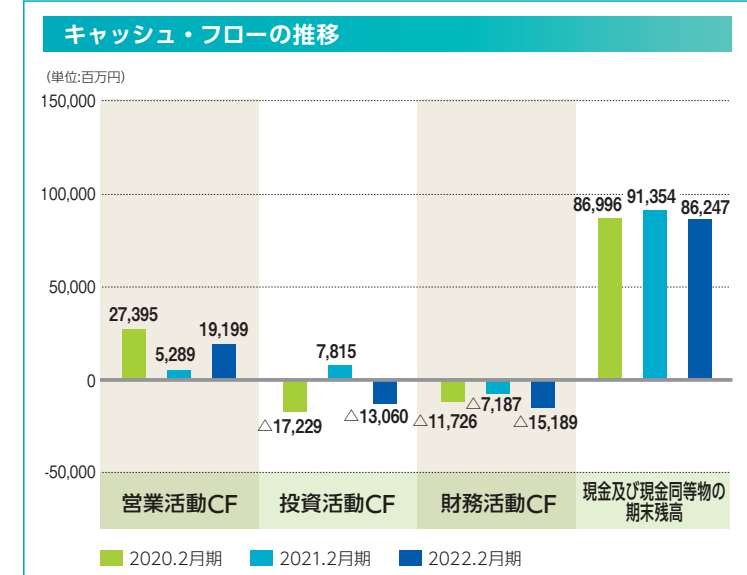
(単位:百万円)

科目	当期 (2021.3.1から 2022.2.28まで)	前期 (2020.3.1から 2021.2.28まで)
<b>4 売上高</b>	<b>120,193</b>	<b>114,510</b>
売上原価	50,126	45,337
<b>売上総利益</b>	<b>70,067</b>	<b>69,173</b>
販売費及び一般管理費	60,730	58,501
<b>4 営業利益</b>	<b>9,337</b>	<b>10,671</b>
営業外収益	3,453	2,061
営業外費用	152	903
<b>4 経常利益</b>	<b>12,638</b>	<b>11,829</b>
特別利益	660	408
特別損失	342	40
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>12,956</b>	<b>12,197</b>
法人税等	3,093	2,764
<b>当期純利益</b>	<b>9,862</b>	<b>9,433</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	204	182
<b>4 親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>9,658</b>	<b>9,250</b>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2021.3.1から 2022.2.28まで)	前期 (2020.3.1から 2021.2.28まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,199	5,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,060	7,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,189	△ 7,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,944	△ 1,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 5,106	4,357
現金及び現金同等物の期首残高	91,354	86,996
現金及び現金同等物の期末残高	86,247	91,354



Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益(129億5千6百万円)、減価償却費(43億2千1百万円)、売上債権の減少額(21億9千1百万円)、たな卸資産の減少額(30億7千3百万円)、仕入債務の減少額(21億9千6百万円)などにより、191億9千9百万円の収入(前連結会計年度は52億8千9百万円の収入)となりました。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の増加額(110億7百万円)、有形固定資産の取得による支出(36億1千万円)、有価証券の減少額(14億9千8百万円)などにより、130億6千万円の支出(前連結会計年度は78億1千5百万円の収入)となりました。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出(80億4千3百万円)、配当金の支払額(68億3千9百万円)などにより、151億8千9百万円の支出(前連結会計年度は71億8千7百万円の支出)となりました。

Point 8 現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度末と比較して51億6百万円減少し、862億4千7百万円となりました。





Hisamitsu®



この いよいよ  
5月18日は  
サロンパスの日

当社従来品に比べて包装サイズを  
小さくしました。



いたわりませんか？

おかげさまで  
88周年を  
迎えました。



貼って、寝て、きもちいい！

サロンパス®

肩こり・腰痛・筋肉痛に 第3類医薬品

